



2025年1月17日

各 位

会 社 名 **株式会社 ヨロズ**
横浜市港北区樽町三丁目7番60号
代 表 者 名 代表取締役社長 平中 勉
(コード番号 7294 東証 プライム)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 平野 紀夫
(TEL:045-543-6802)

減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩し及び関係会社株式評価損等の計上に関するお知らせ

当社は、2025年1月17日の取締役会決議に基づき、2025年3月期の決算において下記のとおり減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩し(連結)、並びに関係会社株式評価損等の計上(個別)を行う見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩し(連結)に、並びに関係会社株式評価損等の計上(個別)について

当社は、中国における自動車市場の大きな変化等、主要顧客のグローバル規模での生産の大幅な落ち込み、及び2025年度以降の生産動向等による事業環境への影響を評価した結果、2024年12月に固定資産の減損兆候ありと認識いたしました。

主に米州・アジアセグメントにおける固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、2025年3月期において減損損失合計約140億円を特別損失に計上する見込みとなりました。併せて、今後の業績見通しを総合的に勘案し、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、当該資産約19億円を取り崩す見込みとなりました。

以上により今期は大幅な当期純損失となりますが、来期以降の安定した事業運営のために事業環境に沿ったバランスシートの適正化を図るべく2024年5月15日に公表したYSP2026(中計)で掲げた収益体質強化に向けた構造改革施策を前倒しで実施するものです。

また、海外拠点に係る関係会社株式評価損等約84億円を個別決算において特別損失に計上する見込みとなりましたが、当該関係会社株式評価損等は連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 当社通期連結業績への影響

通期連結業績予想については、上記の減損損失及び繰延税金資産の取り崩しを踏まえ、「営業外費用(為替差損)の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を本日発表しております。

以上